

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント

(平成28年1月1日現在) 総務省自治行政局住民制度課

はじめに

○調査内容

- ①平成28年1月1日現在の住民基本台帳人口（住民票に記載されている者の数）及び世帯数
- ②平成27年1月1日～12月31日の人口動態（住民票の記載及び消除の数）

○対象 ①日本人住民 ②外国人住民 ③総計(①日本人住民+②外国人住民)

<用語の説明>

人口・世帯数における 「本年」…「平成28年1月1日」

「前年」…「平成27年1月1日」

人口動態における 「本年」…「平成27年1月1日～同年12月31日」

「前年」…「平成26年1月1日～同年12月31日」

全国の人口

○全国の人口

()は対前年増減数・率

総計	日本人住民	外国人住民
1億2,806万6,211人 (△16万0,272人、△0.12%)	1億2,589万1,742人 (△27万1,834人、△0.22%)	217万4,469人 (+11万1,562人、+5.41%)

※外国人住民の割合は1.70%

○人口

- * 日本人住民の人口は、平成21年をピークに7年連続で減少
現行調査開始(昭和43年)以降最大の減少数
 - ・ 現行調査開始(昭和43年)以降、平成18年に初めて減少し、平成20年、21年と増加したが、平成22年から7年連続で減少
- * 外国人住民の人口は、前年より増加。対前年で5.41%増と高い伸び

○自然増減数（出生者数－死亡者数）

- * 日本人住民の自然増減数は、△28万6,098人
自然減少数が9年連続拡大し、調査開始(昭和54年度)以降最大
 - ・ 調査開始(昭和54年度)以降、自然増加数が縮小傾向。平成17年度には自然減少に転じた。平成19年度以降9年連続で自然減少数が拡大
 - ・ 出生者数は、101万0,046人。減少傾向だが、前年の調査開始(昭和54年度)以降最少から増加に転じた。
 - ・ 死亡者数は、129万6,144人。増加傾向にあり、11年連続増加後、平成24年度は減少したが、本年は3年連続の増加し、調査開始(昭和54年度)以降最多
- * 外国人住民の自然増減数は、+7,299人。自然増加数が縮小
 - ・ 出生者数は、1万3,995人。前年より減少
 - ・ 死亡者数は、6,696人。前年より増加

○社会増減数（転入者数等－転出者数等）

- * 日本人住民の社会増減数は、1万4,264人で、前年から増加に転じた。
転入者数は、520万5,080人、転出者数は522万3,525人
転入者数・転出者数ともに前年の調査開始(昭和54年度)以降最少から増加に転じた。
- * 外国人住民の社会増減数は、+10万4,263人で、社会増加が拡大
国外からの転入者数－国外への転出者数は、22万8,026人で、国外からの転入超過の状況が前年より拡大

都道府県の人口

○人口1位	総計	日本人住民	外国人住民
	東京都(1,341万5,349人)	東京都(1,296万6,307人)	東京都(44万9,042人)

※総計に占める外国人住民の割合が最も大きいのは東京都(3.35%)

○人口増加、自然増加、社会増加 ()は平成27年中増減数・率

		日本人住民	外国人住民
人口増加数	増加団体	6団体	46団体
	1位	東京都(+8万6,164人)	東京都(+3万1,600人)
人口増加率	1位	東京都(+0.67%)	長崎県(+31.69%)

※平成24年～平成28年の対平成23年人口増加率(日本人住民)について、平成28年でプラスとなっているのは7都県

		日本人住民	外国人住民
自然増加数	増加団体	4団体	38団体
	1位	沖縄県(+5,682人)	東京都(+1,900人)
自然増加率	1位	沖縄県(+0.39%)	群馬県(+0.81%)

※直近5年連続で自然増加(日本人住民)の団体は3団体

		日本人住民	外国人住民
社会増加数	増加団体	9団体	38団体
	1位	東京都(+8万4,714人)	東京都(+2万9,700人)
社会増加率	1位	東京都(+0.66%)	長崎県(+31.68%)

※直近5年連続で社会増加(日本人住民)の団体は6団体

市区町村の人口

○人口 日本人住民：市区部・町村部ともに減少 外国人住民：市区部・町村部ともに増加
()は対前年増減数・率 < >は構成比

	市区部	町村部
総計	1億1,676万9,262人(△6万2,674人) <91.2%> (△0.05%)	1,129万6,949人(△9万7,598人) <8.8%> (△0.86%)
日本人住民	1億1,470万2,367人(△16万8,265人) <91.1%> (△0.15%)	1,118万9,375人(△10万3,569人) <8.9%> (△0.92%)
外国人住民	206万6,895人(+10万5,591人) <95.1%> (+5.38%)	10万7,574人(+5,971人) <4.9%> (+5.88%)

○市区町村の人口割合【総計】 市84% 区7% 町8% 村1%

○人口1位	市区部	町村部
総計	横浜市(372万9,357人)	宮城県富谷町(5万2,295人)
日本人住民	横浜市(364万7,934人)	宮城県富谷町(5万2,146人)
外国人住民	大阪市(12万0,544人)	群馬県大泉町(6,717人)

○大都市	総計	日本人住民	外国人住民
	100万人都市は11市(横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市、神戸市、福岡市、川崎市、京都市、さいたま市、広島市、仙台市)	同上	10万人を超える市区は大阪市のみ

市区町村の人口(続き)

○人口増加率、自然増加率、社会増加率

	日本人住民		外国人住民	
	市区部	町村部	市区部	町村部
人口増加率	△0.15% 77%がマイナス団体	△0.92% 88%がマイナス団体	+5.38% 79%がプラス団体	+5.88% 56%がプラス団体
自然増加率	△0.19% 84%がマイナス団体	△0.58% 90%がマイナス団体	+0.36% 54%がプラス団体	+0.27% 55%※がプラス団体 ※ゼロ団体除きの割合
社会増加率	+0.05% 71%がマイナス団体だが プラス団体の影響でプラス化	△0.34% 78%がマイナス団体	+5.03% 78%がプラス団体	+5.60% 56%がプラス団体

(参考) ・平成27年中の出生者数【総計】が10人未満の団体は、80団体

・平成27年中の外国人住民の人口増加数の多い10団体は、三大都市圏の都市部に集中しており、外国人住民の人口増加の総計の人口増加への影響度(外国人住民の人口増加数÷総計の人口増加数)が増している団体がほとんどで、影響度が5割前後にのぼる団体も多い。

○【総計】人口増加、自然増加、社会増加の1位

	市区部	町村部
人口増加数	福岡市 (+1万4,641人)	福岡県新宮町 (+1,410人)
人口増加率	中央区 (+3.55%)	東京都御蔵島村 (+5.37%)
自然増加数	川崎市 (+4,444人)	福岡県粕屋町 (+380人)
自然増加率	長久手市 (+0.89%)	東京都利島村 (+1.95%)
社会増加数	大阪市 (+1万6,495人)	福岡県新宮町 (+1,205人)
社会増加率	中央区 (+2.77%)	東京都御蔵島村 (+4.36%)

○【日本人住民】人口増加、自然増加、社会増加の1位

	市区部	町村部
人口増加数	福岡市 (+1万2,947人)	福岡県新宮町 (+1,393人)
人口増加率	中央区 (+3.39%)	東京都御蔵島村 (+5.39%)
自然増加数	川崎市 (+4,288人)	福岡県粕屋町 (+375人)
自然増加率	長久手市 (+0.89%)	東京都利島村 (+1.95%)
社会増加数	大阪市 (+1万2,445人)	福岡県新宮町 (+1,188人)
社会増加率	千代田区 (+2.62%)	東京都御蔵島村 (+4.38%)

○【外国人住民】人口増加、自然増加、社会増加の1位

	市区部	町村部
人口増加数	大阪市 (+3,649人)	群馬県大泉町 (+340人)
人口増加率	石狩市 (+89.58%)	北海道妹背牛町 (+600.00%)
自然増加数	横浜市 (+454人)	群馬県大泉町 (+67人)
自然増加率	胎内市 (+2.53%)	北海道大空町 (+10.00%)
社会増加数	大阪市 (+4,050人)	北海道倶知安町 (+276人)
社会増加率	石狩市 (+89.58%)	北海道妹背牛町 (+600.00%)

三大都市圏(東京圏、名古屋圏、関西圏)の人口

- 三大都市圏の人口
 - ・日本人住民の人口は、6,449万0,005人で、過去最高を更新
人口割合は、51.23%で、10年連続で全国人口の半数を上回る
 - ・外国人住民の人口は、153万5,915人で、昨年より増加
人口割合は、70.63%で、昨年に引き続き全国人口の7割を上回る

年齢階級別人口

- 日本人住民の年少人口は、調査開始(平成6年)以降毎年減少
生産年齢人口は、平成7年を除き、調査開始(平成6年)以降毎年減少
老年人口は、調査開始(平成6年)以降毎年増加。前年から年少人口の2倍以上に

- 日本人住民の年少人口・生産年齢人口の割合は、調査開始(平成6年)以降毎年減少
老年人口の割合は、調査開始(平成6年)以降毎年増加

	日本人住民	外国人住民
年少人口(0~14歳)	12.82%(調査開始以降毎年減少)	8.68%
生産年齢人口(15~64歳)	60.60%(調査開始以降毎年減少)	84.42%
老年人口(65歳~)	26.59%(調査開始以降毎年増加)	6.90%

- 参考 18歳及び19歳の日本人住民の人口は、全国で239万7,890人
(18歳以上の日本人住民の人口は、全国で1億0,618万6,583人)

- 【日本人住民】年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合の1位

	市区部	町村部
年少人口割合	豊見城市 (20.35%)	三重県朝日町 (21.78%)
生産年齢人口割合	中央区 (70.81%)	東京都青ヶ島村 (70.91%)
老年人口割合	夕張市 (48.86%)	群馬県南牧村 (60.13%)

世帯数

- 全国の世帯数は、現行調査開始(昭和43年)以降毎年増加(日本人住民・複数国籍の世帯)
- 1世帯の平均構成人員は、現行調査開始(昭和43年)以降毎年減少(日本人住民・複数国籍の世帯)

()は対前年増加数・率

	世帯数	1世帯平均構成人員
総計	5,695万0,757世帯(+53万8,617世帯、+0.95%)	2.25人(△0.02人)
日本人住民及び 複数国籍の世帯	5,581万1,969世帯(+44万7,772世帯、+0.81%)	2.26人(△0.02人)
外国人住民の世帯	113万8,788世帯(+9万0,845世帯、+8.67%)	1.91人(△0.06人)

- 集計結果は「e-Stat(政府統計の総合窓口)」に掲載(平成28年7月13日17時以降掲載)
 <掲載ページへのアクセス方法>
 ・検索サイトで「住基人口 e-Stat」で検索